

高松市水道事業基本計画特集①

健全な水道システムの構築に向けて

水道事業は、今後、少子高齢化の進行、人口減少や節水型機器の普及、節水意識の浸透などにより、経営基盤である給水収益の減少が見込まれます。一方で、老朽配水管の布設替えや主要配水管の耐震化、合併町との相互連絡管の布設、浄水場施設の改修など、各種施設の改良や更新整備に多大な経費の増加が見込まれ、水道事業は厳しい経営が予想されます。

このような状況の中、将来に亘って安全で良質な水道水を安定してお届けするために、①経営基盤の強化、②お客さまサービスの向上、③安全な水の供給、④安定給水システムの充実、⑤災害対策の充実、⑥環境・エネルギー対策の強化、の6つの基本方針を柱とした、高松市水道事業基本計画を策定しています。

今年度の「みんなの水」では、これらの基本方針を、今回を含め5回シリーズでご紹介します。初回となる今号では①経営基盤の強化、をご紹介します。次号では②お客さまサービスの向上、をご紹介します予定です。

【基本方針】 経営基盤の強化

【基本施策】

1 健全財政の維持

- 1 将来の給水量減少に伴う、水道料金収入の減収に対応した支出経費の抑制
- 2 事務事業や施設整備事業等の見直しによる経費の削減
- 3 財政収支計画の見直し
- 4 給水原価の抑制による現行水道料金水準の維持
- 5 企業債の借入額抑制と高金利の企業債の繰上償還

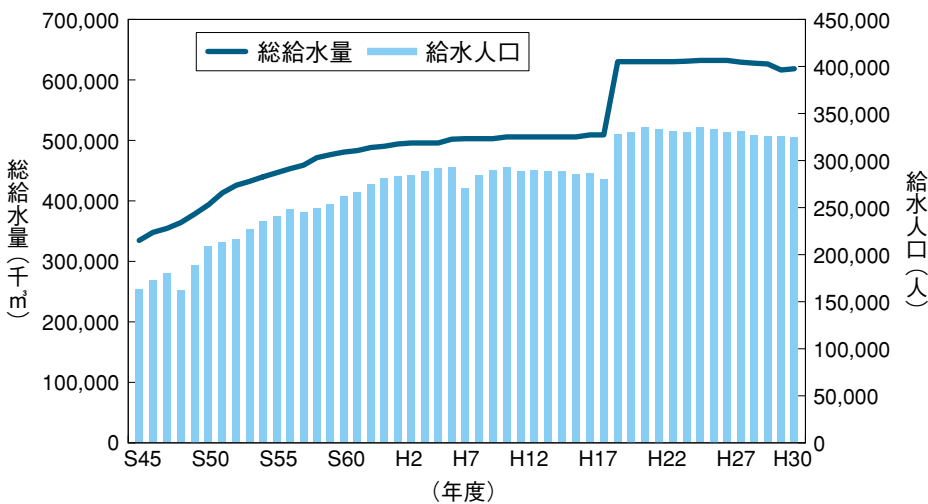
2 事業経営の効率化

- 1 事務事業のアウトソーシングの推進
- 2 情報化計画の策定とIT化の推進
- 3 塩江簡易水道事業会計の高松市水道事業への統合

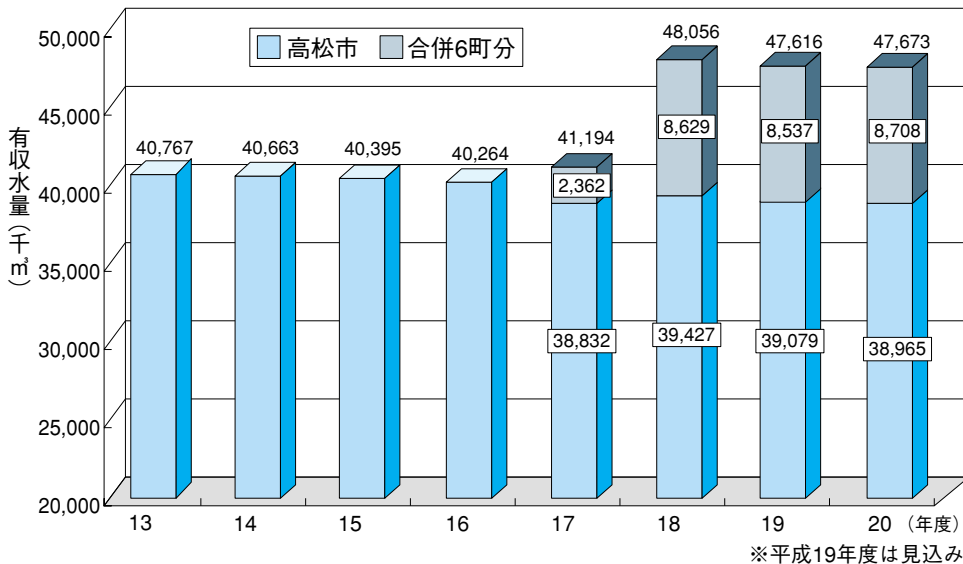
3 事業推進体制の確立

- 1 適正かつ合理的な組織体制への再編
- 2 人材育成計画の見直し
- 3 定員適正化計画の推進

●総給水量および給水人口の推移と将来予測

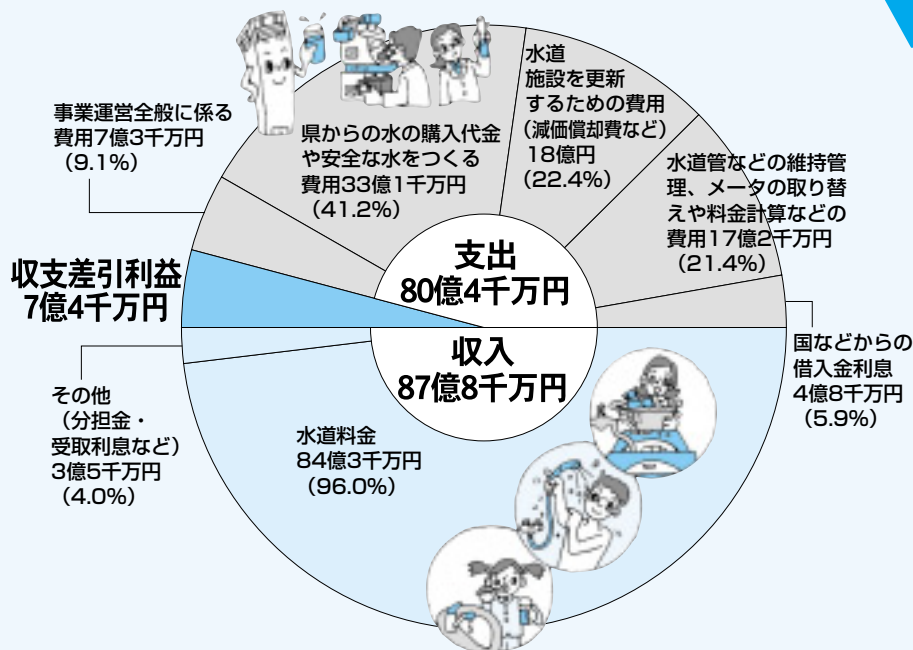


●有収水量の推移と将来予測



平成20年度水道事業会計予算は109億3千万円（塩江簡易水道事業を含む）

●収益的収入・支出



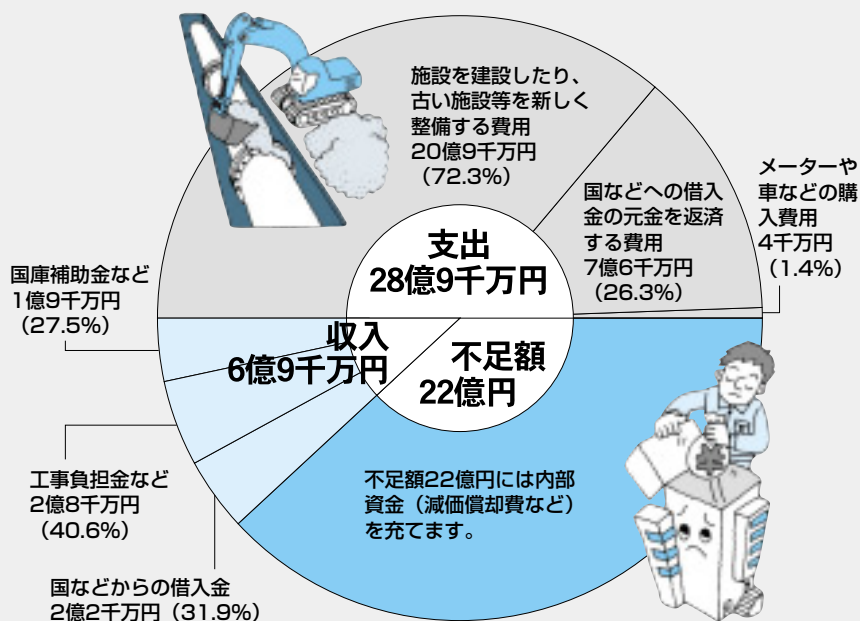
（水道水をつくり、お客さまのご家庭まで送り届けるための経費と水道料金などの収入です。）

水道水を作るための費用や、県営水道用水からの受水費用、配水管などの維持管理費用、水道メータの検針や料金の計算費用などで、支出額の合計は80億4千万円となっており、平成19年度に比べ1億9千万円削減しています。

主な収益的支出事業

- 鉛製給水管解消対策事業
- アパート、マンションなどの小規模貯水槽点検啓発事業
- 給・配水管の漏水修理および調査、漏水防止工事
- 老朽配水管腐食状況調査業務

●資本的収入・支出



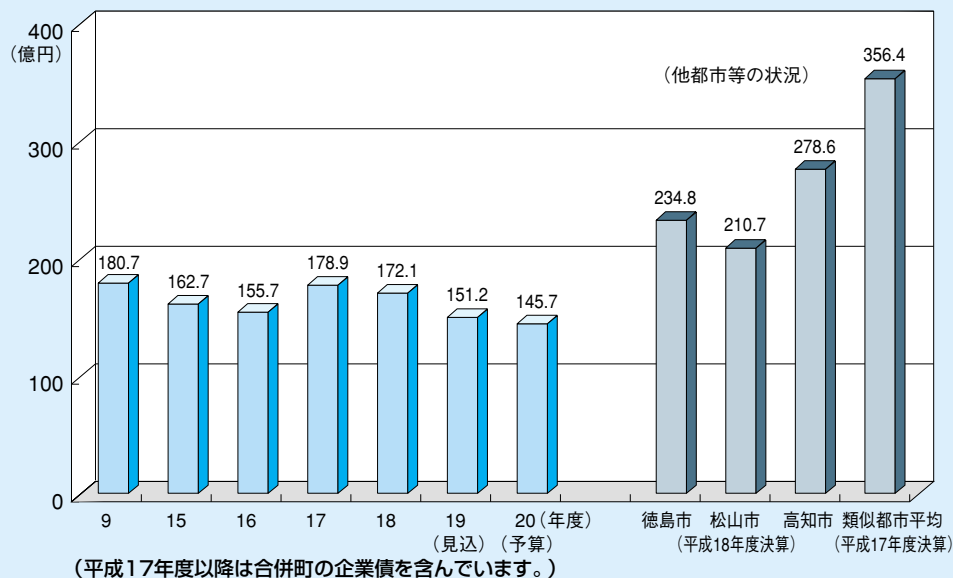
（水道施設を整備・拡充するために必要な経費と）財源です。

幹線道路への配水管の布設や老朽配水管の布設替え、合併町との相互連絡管の布設などの管網整備をはじめ、各浄水場の施設整備や更新を行うほか、高地区配水池等の施設整備など支払額は28億9千万円となっています。

主な建設改良事業

- 老朽配水管布設替事業
- 合併町との相互連絡管布設事業
- 浄水場等の施設整備事業
- 椋川ダム建設事業

●借入金(企業債残高)の推移と比較



浄水場の整備や配水管整備事業の財源に充てるための国などからの借入金は、平成9年度をピークに減少に転じています。平成19年度には、高利率の企業債の繰上償還（13億9千万円）を行いました。この結果、利子が2億7千万円軽減されることとなりました。

今後も将来負担とならないよう企業債借入額の縮減に努めます。